



# Flash News

三重大学

第117号

## 目次

- 平成 25 年度からの新体制紹介
- 運営組織

- 新組織
  - ・理事挨拶
  - ・監事挨拶
  - ・副学長挨拶
  - ・附属病院長挨拶

- 退任挨拶
  - ・理事退任挨拶
  - ・副学長退任挨拶

## 平成25年度からの新体制紹介



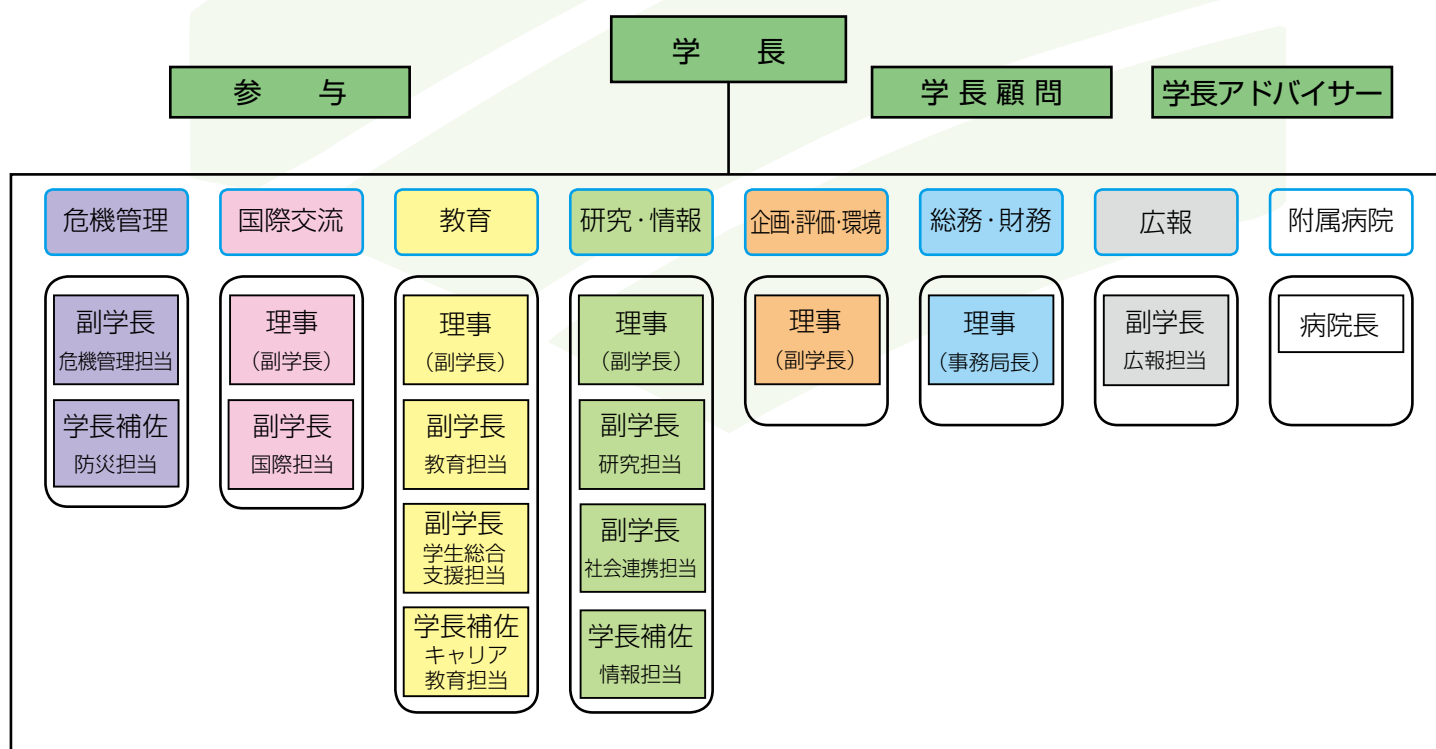
第3期の新しい執行部がスタートします。5人の理事と7人の副学長がそれぞれ役割を分担し、「優れた教育・研究、それを通しての地域貢献」をこれまで以上に推進します。地域社会との連携を一層高め、地域の知の拠点、Center of Communityとしての機能を構築します。

教養教育の改革による有為な社会人の養成、創造的かつ創作的研究により地域から世界へと情報発信しましょう。地域と結びつくことが世界への窓口であることを意識してほしいと願っています。

教職員学生が一体となって、世界一の環境先進大学を目指す三重大学キャンパスの中でグローバルイゼーションを実現しましょう。

内田 淳正

## 運営組織



## 理事挨拶

## 統括・教育



田中 晶善

統括および教育担当として、引き続き2年間、理事の職に就くこととなりました。大学の役割についてあらためて確認してみますと、「教育基本法」に始まり、学術会議や中教審の近年の諸答申、さらには本学の学則や中期目標まで、一貫して繰り返し、「教養」と「専門的能力」の二つの養成が謳われています。この目標に一步でもより良く近づけるよう、微力を尽くしたいと考えています。

## 研究・情報

研究は、教育と並ぶ大きな大学の柱です。私に与えられた使命は、地域に根ざし、世界に誇れる独自性豊かな研究成果を三重大学から発信する体制作りです。自然環境や社会が大きく変化する中、既存の方法では通用しない時代が訪れています。これに対応するためには、従来の研究テーマにとらわれない発想や大学でしかできない基礎研究が必要です。研究に取り組む教員や学生のアイデアを把握・理解し、それを組織としてサポートする体制、その整備を情報に関する環境整備と併せて構築していきたいと考えています。ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



吉岡 基

## 企画・評価・環境



朴 恵淑

企画においては、各部局と本部組織との戦略的な運営体制による大学の機能強化に取り組みます。特に、男女共同参画事業のノウハウを活かし、県や企業、NPOとの連携による啓発活動を強化します。評価では、自己点検・評価の結果や国立大学法人評価結果を広く社会に公開するとともに、平成26年度受審予定の認証評価に向けた準備を進めます。環境については、世界一の環境先進大学を目指して翠のキャンパス環境を創出します。特に、スマートキャンパス実証事業のハード面及びソフト面の充実を図り、二酸化炭素を約30%削減します。

## 国際交流

本年度より国際交流担当理事を担当させていただくことになりました堀です。医学部での学生交換事業、国際医療協力参加の経験を生かして、留学生・交換学生受入体制の強化、学内教育環境の国際化、海外での体験的学習機会の拡充に取り組みたいと考えております。そして、国際社会に生きる学生と教員がともに考え、行動する大学を目指したいと思っております。任期の2年間よろしくお願いいたします。



堀 浩樹

## 総務・財務



鈴木 英

引き続き、総務・財務担当理事・事務局長として、三重大学にお世話になります。1月に三重大学に赴任してから3ヶ月、挨拶廻りも終わり、学内施設も数箇所見ることができました。今は、三重大学のことを勉強中ですが、これからは、内田学長の指導の下、本学が抱えている諸課題の解決に少しでも力になり、また、教職協働で皆様が働きやすい環境を作っていけるよう頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

## 監事挨拶



橋本 洋一

昨年監事に就任し、学生の皆様や教員・役職員の皆様が、多くの課題に全力で取り組んでいる姿を、目の当たりにいたしました。私も、三重大学における法令遵守体制やリスク管理体制の検証および業務運営状況を検証するという監事職の仕事を通じて、少しでも三重大学の発展に寄与したいと考えております。三重大学は一万人規模の大きな組織であり、業務運営の把握にあたっては皆様のお力をお借りしなければなりません。これからも皆様と密に意思疎通を図ってまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

会計監査担当の非常勤監事として3年間勤めさせていただいております。この間、三重大学が国立大学法人として独立的な運営で特色を出して、様々な改革に基づき前進しているように思われます。私は公認会計士として企業の会計監査などに携わってまいりましたので、この一年間は財務会計分野の充実と向上に少しでも貢献できるよう努力してまいります。皆様のご指導とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



田島 和憲



## 副学長挨拶

## 教育



山本 俊彦

引き続き2年間教育担当の副学長として共通教育、教員免許状更新講習、高大連携推進を担当させていただくことになりました。皆様方のご協力ご支援を賜りながら、各事業の推進と拡充に努めて参りたいと考えております。何卒よろしくお願いたします。特に、共通教育は、新しい教養教育への橋渡しの期間になると思います。共通教育における問題や課題を整理し、教養教育がより良いものとしてスタートできるようにしたいと考えております。

## 学生総合支援

学生支援は大学で重要な課題となっている中で、本学では、キャリア教育、就職支援、学生相談、ピア・サポート体制、課外活動、留学生支援等の整備が前学生総合支援副学長の中川先生により進められ、その取り組みは全国的にも注目されています。現在の取り組みを維持することが課題であると考えていますが、学生支援は全教職員が携わらなくてはできないことです。皆様のご支援とご協力のほどをお願い申し上げます。



後藤 太一郎

## 研究



堀内 孝

吉岡研究・情報担当理事の補佐役として、西村社会連携担当副学長とともに本学の研究推進に貢献していく所存であります。前統括・研究担当理事の武田先生、研究担当副学長の緒方先生が敷かれた本学の研究指針をより前進させるよう努力いたします。グローバルに活躍できる学生を育成・輩出させていく上でも、学内のみならず大学間、国外の教育研究機関との連携による研究環境の構築・充実は不可欠な課題であります。他の執行部の皆様とスクラムを組み、このような課題を達成できるよう努めていく所存であります。何卒、ご支援、ご指導のほどお願い申し上げます。

## 社会連携

三重県の研究産業界は産業構造の変化やグローバル化への対応などで転換期を迎えています。このような社会変革に適応するために、地域社会からは三重大学による研究開発への協力、人材育成と地域への輩出に期待がますます強くなっています。このような状況下で社会連携担当副学長を拝命したことに重い責任を感じていますが、これまでの経験を生かし、少しでもお役に立てればと思います。皆様のご協力とご指導のほどよろしくお願いたします。



西村 訓弘

## 国際



江原 宏

堀浩樹理事とともに国際関係の事業を担当させていただきます。微力ではありますが、本学における国際化の加速的推進を目指して努めてまいりたいと思います。より魅力的で効果的な国際交流プログラムを提供し、国際キャリアアップに結びつけることができるよう、関係部署と協力しながら取り組んでいきたいと考えております。ご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

## 広報

三重大学は環境研究や地域研究などを含めて様々な挑戦をしています。その挑戦を広報していくのが広報室の役割。時代に先駆けた様々な試みをリアルタイムでできるだけ多くの人に伝えていきたいと思ひます。特に国際的な取り組みはこれからますます重要なものになるでしょう。日本人だけでなく、海外の人にもターゲットを広げていければと思ひます。



児玉 克哉

## 危機管理



住田 安弘

引き続き危機管理担当副学長を拝命いたしました。防火防災管理者も兼任しており、迫り来る南海トラフの巨大地震に対し、防災室を軸として防災対策を講じていきます。危機管理の守備範囲は広大ですが、特にハラスメント、感染症、ヒヤリハット対策に力を注いでまいります。また三重大学危機管理体制について、危機管理計画書に基づき、各マニュアルの再整備を行ってまいります。何卒よろしくご指導、ご協力のほどお願い申し上げます。

## 附属病院長挨拶

本年度も引き続き附属病院長を拝命しました竹田でございます。附属病院では平成24年1月に新病棟が開院し、次いで2月にはドクターヘリが就航しました。1年以上経過して双方ともに順調に稼働しております。現在、外来・中央診療棟の新築工事が進められており、2年後に完成する予定です。今年度もより良い病院運営に努め、平成27年4月からの新しい外来棟・病棟での診療を円滑に開始したいと願っています。



竹田 寛



## ◆◆学長補佐◆◆



中川 正

(キャリア教育担当)



奥村 晴彦

(情報担当)



畑中 重光

(防災担当)

## ◆参与◆



武田 保雄

## ◆学長顧問◆



珠玖 洋

## ◆◆学長アドバイザー◆◆



西岡 久寿樹



日高 弘義



鈴山 雅子



渡邊 悌爾



加藤 征三

## 理事退任挨拶

## 統括・研究



武田 保雄

皆様大変お世話になったこと、感謝しております。組織整備が終わった研究支援体制を軌道に乗せ、将来を見据えた研究推進と外部との連携強化を進めるよう努めてきました。三重大が熱心に推進してきた地域貢献の取り組みは、全国でも認知されるようになってきたのは嬉しいことです。三重大学全体としての研究レベル向上はまだ顕著な成果とはなっていませんが、科学研究費取得へ向けてのサポート体制の充実が図られ、近い将来の成果が期待されます。皆様方の地道な努力の基に、本学の研究活動、社会連携事業が一層発展することを祈っています。

## 評価・情報

第1期中期目標期間での評価で、三重大学は上位にランクされました。その結果、運営費交付金増額があり、増額分は各部局並びに事務局で新たな計画に使用されているものと思います。また、附属図書館長も担当しました。附属図書館建物について耐震改修が完成し、在任中に内覧会を挙行することができました。学生にとって自学自習に利用価値の高い環境・情報科学館新設の一部を担当できてよかったと思っています。退任にあたり、皆様には大変お世話になりました。あらためて感謝申し上げます。



加藤 和郎

## 副学長退任挨拶

## 学生総合支援



中川 正

教育担当を含めて、2期4年間副学長を担当させていただきました。その間に、教員・職員・学生が一体となった学生支援体制、キャリア教育・就職支援体制、留学生支援体制等の整備を進めることができました。引き続き、学長補佐としてキャリア教育強化や、中部圏23大学をつなぐ「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」に関わらせていただくことになりましたので、今後ともよろしく願い申し上げます。

## 研究

武田理事の補佐役を2年間勤めさせていただきました。この間、生命科学研究支援センター長としては動物実験施設の改修を、研究推進戦略室会議議長としては研究支援学内制度の実施や整備を行いました。また、研究に関する規程整備や研究倫理に関わる問題にも取り組みました。学部間連携については、道半ばにも達しませんでした。多少の種をまけたのではないかと思います。至らぬことばかりであったと思いますが、なんとかやれたのも一重に皆様のご協力の賜物と思います。あらためてお礼申し上げます。



緒方 正人

